

行動型・参加型学修を基盤とするAL推進の取組

県立広島大学 総合教育センター 五條 小枝子
本部経営企画室 川口 博之



県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima



1. 共通教育の改革とAL実践科目の開設

◆ 県立広島大学について

- 2005年に3つの県立大学が統合し開学(3キャンパス4学部11学科)
- 「地域に根ざした、県民に信頼される大学」を目指す

◆ 全学共通教育の改革(～H27年度)

「授業の満足度は高いが、授業外学修時間が伸びず、主体的学びが引き出せていない」

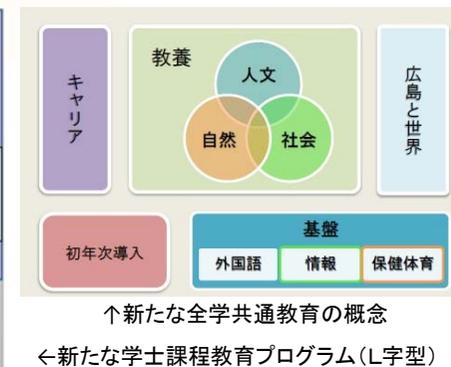


27年度から新たな全学共通教育を導入…「L字型モデル」

- 学士課程全体を「教育プログラム」と捉え、体系的なカリキュラムを構築
- 「専門教育と並び立つ教養教育」という理念

◆ 科目群「広島と世界」を新設

- 「地域に軸足を置き、世界を視野に活躍できる人材」の育成を目指す科目を開設(右表)
- 広島県をフィールドとするアクティブ・ラーニング実践科目を、共通教育の体系に組み込む



「広島と世界」開講科目	
県大生として学ぶ広島と世界	地域の理解
地域情報発信論	ボランティア活動
異文化としての日本	留学生と学ぶ広島
海外研修Ⅰ	海外研修Ⅱ

2. 行動型・参加型学修の推進

◆ 県立広島大学型アクティブ・ラーニング(Campus Linkage Active Learning : CLAL)

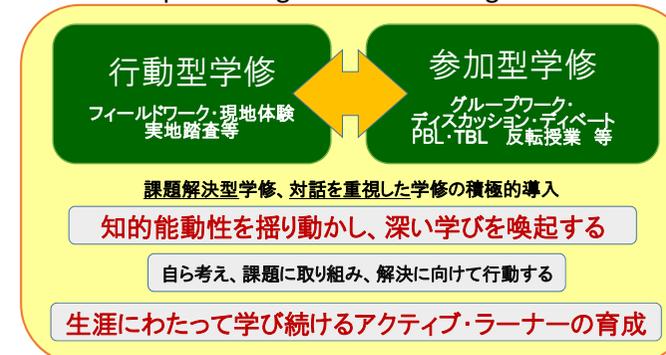
- 平成26年度「大学教育再生加速プログラム」(テーマⅠ:アクティブ・ラーニング)に採択
- 行動型学修・参加型学修を軸とする「県立広島大学型アクティブ・ラーニング」を全学推進

◆ 行動型ALの実践支援…「行動型学修に参加する学生への経費助成」事業

- ① キャンパス移動に係る移動補助 ⇒ キャンパスを越えた学生の交流、合同成果発表会の実施
- ② 学外実習へ出向く学生への移動補助 ⇒ フィールドワークや実地踏査等の体験学修を推進

学士課程教育プログラムの改革 + AP事業によるAL手法導入加速 = 主体的な学びを引き出す
「広島と世界」等 「行動型・参加型学修」 能動的な授業の実践!

県立広島大学型アクティブ・ラーニング Campus Linkage Active Learning : CLAL



3. 「広島と世界」におけるCLALの展開

- ◆ 行動型学修を通じた、学外で現地体験 (フィールドワーク, 実地調査)
- ◆ 参加型学修を通じた、経験の共有と内省 (ディスカッション, グループワーク)
- ◆ 成果発表を通じた、学修内容の整理 (合同発表会, プレゼンテーション)

経験を学び
に
変える
学修プロセス



地域に軸足を置き
世界を視野に活躍
できる人材の育成

『地域の理解』

配当年次: 1年

授業実施内容	
第1回 イントロダクション	第9回 広島県の畜産の歴史
第2回 広島の子神楽	第10回 英学と地域の学問: 庄原英学校と倉田百三
第3回 中国山地の近代たたら製鉄業	第11回 ヒロシマを考える
第4回	
第5回 広島の高齢化の課題に対応する地域住民活動	第12回 地域の暮らしを豊かにしたい! ~NPOの視点から~
第6回	
第7回 広島から世界へ ~筆は道具なり~	第13回 フィールドワーク総括
第8回 広島県の農業と中産間地域	第14回 合同発表会に向けて
	第15回 合同発表会(広島キャンパスで開催)



安芸高田市へのフィールドワークにおける神楽の体験

『地域情報発信論』

配当年次: 2年(集中講義)

授業実施内容	
第1回 記者の記事	第8回 記事風レポート: 「かき船移転問題」について私はこう考える
第2回 かき船移転問題の経緯と今	第9回 グループディベート: グループの見解をまとめ、発表
第3回 かき船移転問題についてどう考えるか: 賛否の論議の整理と問題点の抽出	第10回 平和公園の成り立ち・原爆ドーム100年
第4回 平和公園一帯の取材計画を練る	第11回 グループワーク: 平和公園の整備イメージを見出し化
第5回 取材実習(1) ◎写真撮影指導を含む	第12回 グループワーク: イメージ図作成
第6回 取材実習(2) 「平和公園一帯」の歴史と今を学ぶ	第13回 グループワーク: ポスター作成
第7回 模擬記者会見: 学生の質問に記者が答える	第14回 ワーク: ポスター仕上げ
	第15回 プレゼンテーション: 提案・質疑応答・合評



サテライトキャンパスひろしまにおける参加型学修

『留学生と学ぶ広島』

配当年次: 1・2年

授業実施内容	
第1回 授業の趣旨や概要の理解	第8回 レポート発表会(グループ別フィールドワーク)
第2回 留学生のスピーチ、学生同士の意見交換	第9回 ワーク先: 安芸高田市, 尾道市, 竹原市, 庄原市, 広島市
第3回 グループ活動: 事前調査結果の共有	第10回 グループ活動: 事前調査結果の共有
第4回 広島スタディツアー(弥山登山)参加	第11回 広島スタディツアー(平田観光農園, 奥田元宋・小由女美術館)参加
第5回 グループ活動: ディスカッション	第12回 グループ活動: ディスカッション
第6回 レポート発表会(弥山登山)	第13回 レポート発表会(平田観光農園, 奥田元宋・小由女)
第7回 グループ活動: フィールドワーク打ち合わせ	第14回 合同発表会
	第15回



廿日市市・宮島での弥山登山の様子

4. 成果と課題

- 【成果】
- 全学共通教育に「広島と世界」群を配置したことで、キャンパスを越えた学修を促進
 - 実践支援制度による、体験学修や合同発表会の積極実施
 - 体験学修を通じた、新たな発見や広い視野の獲得
 - 学生が「自ら発見する喜び」を感じることによる、深い学びへのいざない

- 【課題】
- 他の共通/専門科目へのALの波及 ⇒ カリキュラムへの体系的な組み込み
 - 学生への意識付け ⇒ 授業の目標や設計に対する、理解不足の解消
 - 担当教員の拡充や学修環境整備 ⇒ グループ活動時のきめ細かな支援の実現

『異文化としての日本』

配当年次: 2年

授業実施内容	
第1回 授業の趣旨と概要の理解	第9回 グループディスカッションの成果発表
第2回 留学生との意見交換	第10回 スチュワート先生の講話と質疑応答を通して、各自問いを立てる
第3回	
第4回 鄭先生の講話と質疑応答を通して、各自問いを立てる	第11回 各自の問いに基づいて、グループディスカッション
第5回 各自の問いと調査結果に基づき、グループディスカッション	第12回 情報交換会(於: 広島キャンパス)
第6回 グループディスカッションの成果発表	第13回 グループディスカッションの成果発表(留学生による発表)
第7回 侯先生の講話と質疑応答を通して、各自問いを立てる	第14回 母国語以外の言語によるプレゼンテーション
第8回 各自の問いと調査結果に基づき、グループディスカッション	第15回

- 留学生と対面してのディスカッション
- 非母国語でのプレゼンテーション
- 異文化に触れ、日本を捉え直す